

# 第2回徳島県消防広域化推進計画検討委員会

日時 平成30年11月7日(水)

午前9時30分から

場所 徳島県庁10階 特別大会議室

## 次 第

1 開 会

2 挨 拶

3 議 事

(1) 推進計画の見直し方針(案)について

(2) その他

4 閉 会

## 徳島県消防広域化推進計画検討委員会 委員名簿

(五十音順)

No.	委員氏名	所属等	備考
1	青木 圭子	一般社団法人徳島県医師会 徳島県医師国保組合事務長	
2	岩浅 嘉仁	阿南市長	
3	遠藤 彰良	徳島市長	
4	川原 和秀	阿南市消防本部消防長	
5	小池 和成	徳島市消防局長	
6	小田切 康彦	徳島大学准教授	
7	小谷 憲市	徳島県自主防災組織連絡会会長	
8	後藤 正和	神山町長	
9	住友 正吉	徳島中央広域連合消防本部消防長	
10	中野 晋	徳島大学教授	
11	乃一 一夫	公益財団法人徳島県消防協会会長	
12	藤田 元治	美馬市長	
13	松村 豊大	徳島文理大学教授	
14	矢野 壽美子	徳島県婦人防火クラブ連合会会長	

徳島県消防広域化推進計画検討委員会 委員名簿

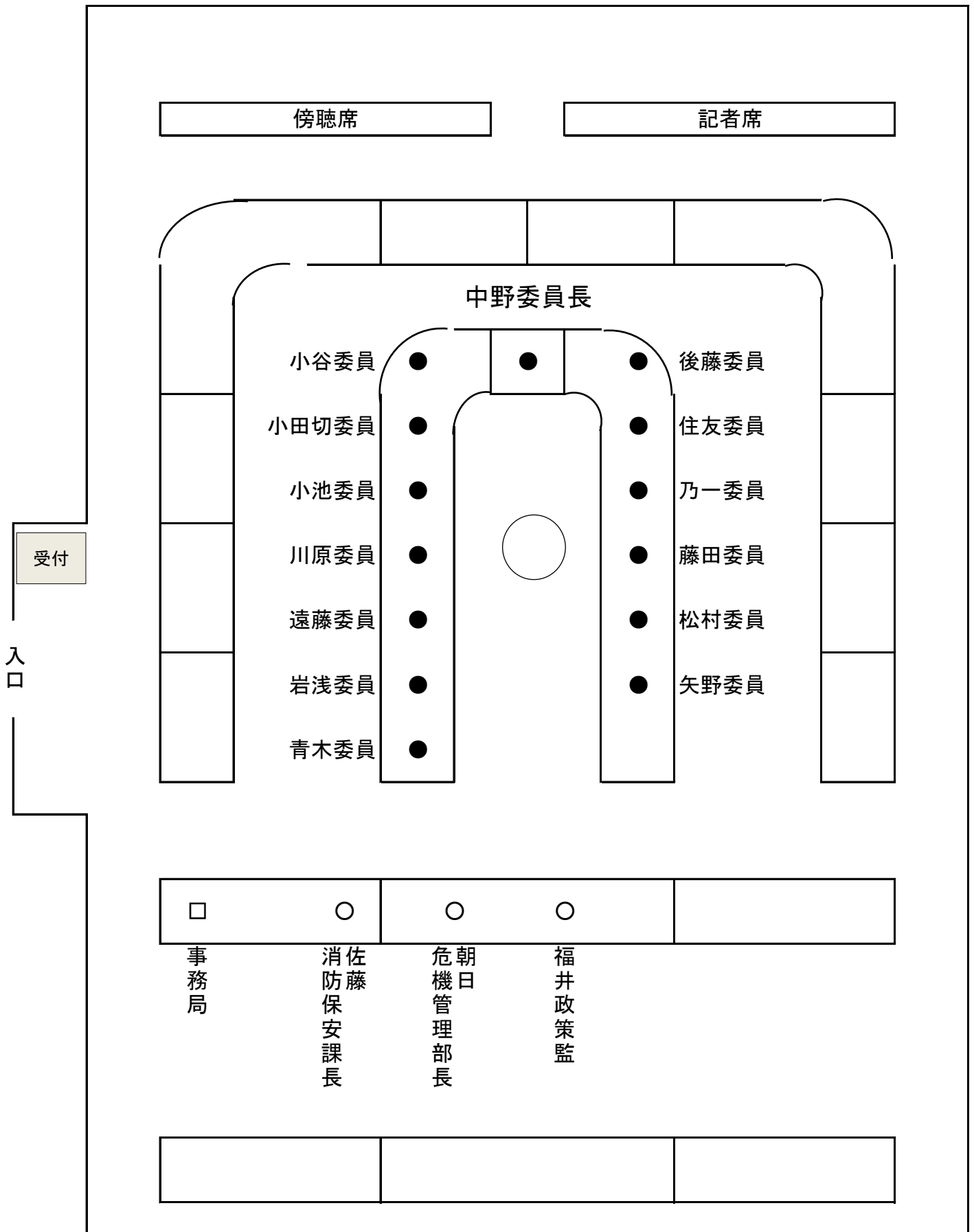
(五十音順)

No.	委員氏名	所属等	第2回 検討委員会 出欠	備考
1	青木 圭子	一般社団法人徳島県医師会 徳島県医師国保組合事務長	出席	
2	岩浅 嘉仁	阿南市長	代理出席	代理人 篠原 政策監
3	遠藤 彰良	徳島市長	出席	
4	川原 和秀	阿南市消防本部消防長	出席	
5	小池 和成	徳島市消防局長	代理出席	代理人 久次米 課長補佐
6	小田切 康彦	徳島大学准教授	出席	
7	小谷 憲市	徳島県自主防災組織連絡会会長	出席	
8	後藤 正和	神山町長	出席	
9	住友 正吉	徳島中央広域連合消防本部消防長	出席	
10	中野 晋	徳島大学教授	出席	
11	乃一 一夫	公益財団法人徳島県消防協会会長	出席	
12	藤田 元治	美馬市長	代理出席	代理人 七條 副市長
13	松村 豊大	徳島文理大学教授	出席	
14	矢野 壽美子	徳島県婦人防火クラブ連合会会長	出席	

# 第2回 徳島県消防広域化推進計画検討委員会 配席図

日時:平成30年11月7日(水)9時30分～

場所:県庁10階 特別大会議室



## 広域化に係る市町村の主な意見等について

- 対象：24市町村 (市町村)
- ・常備消防あり (21)
  - ・非常備消防 (3)

### 1 市町村の主な意見

#### ○広域化について

〈広域化は必要〉 (13)

〈メリットが見出せない〉 (11)

- ・広域連合、一部事務組合等、既に広域化している
- ・消防力が流出するおそれがある
- ・管内へのきめ細かな対応が難しくなる

#### ○広域化の手法

〈連携・協力〉 (21)

- ・通信指令センターの共同化  
※通信指令センター未整備：5消防本部
- ・特殊車両の共同整備
- ・訓練の共同実施

〈非常備の解消〉 (3)

- ・非常備の解消を希望

### 2 連携・協力を含む広域化の組合せ

○生活圏や地域特性が似ている身近な組合せ (23)

## 通信指令センターの整備状況

H30.4.1 現在

	消防本部名	構成市町村	導入時期	次回更新 予定時期	通信指令業務 従事職員数 (人)		備考
					合計	うち (兼務)	
1	徳島市消防局	徳島市	H28. 6. 1	未定	15	( 0 )	
2	鳴門市消防本部	鳴門市	H24. 3. 26	H36年	5	( 2 )	
3	小松島市消防本部	小松島市	—	—	33	( 33 )	
4	阿南市消防本部	阿南市	H26. 3. 5	H40年度 予定	12	( 0 )	
5	美馬市消防本部	美馬市 (美馬町除く)	H26. 10. 1	H32年度 一部更新  H38年度 全部更新	49	( 42 )	
6	美馬西部消防組合消防本部	美馬市 (美馬町) つるぎ町			16	( 15 )	
7	板野東部消防組合消防本部	松茂町 北島町 藍住町	H28. 5. 31	未定	11	( 0 )	
8	板野西部消防組合消防本部	板野町 上板町	—	—	9	( 9 )	
9	名西消防組合消防本部	石井町 神山町	—	—	6	( 6 )	
10	海部消防組合消防本部	美波町 牟岐町 海陽町	—	—	42	( 42 )	
11	徳島中央広域連合消防本部	吉野川市 阿波市	H24. 3月	H32年～37年 の間で予定	9	( 0 )	
12	みよし広域連合消防本部	三好市 東みよし町	H27. 4. 1	H38年度 予定	24	( 24 )	
13	那賀町消防本部	那賀町	—	—	13	( 13 )	

「徳島県消防広域化推進計画」の見直し方針（案）について

1 背景

- 消防ニーズの複雑化・多様化・高度化
  - ・高齢化による救急需要の増大
  - ・地震や豪雨等大規模災害への対応
- 消防力の維持
  - ・人口減少による財政面の制約
  - ・低密度化の一方、必要な消防署所等は変化せず

⇒ 消防の広域化は、消防力の維持強化に有効な手段

〈広域化のメリット〉

- ・住民サービスの向上（初動の消防力の充実、救急車等の現場到着時間の短縮）
- ・人員配置の効率化と充実（現場要員の増強、消防業務の高度化・専門化）
- ・消防体制の基盤強化（高度な消防設備・施設等の整備、組織の活性化）

2 見直し方針（案）

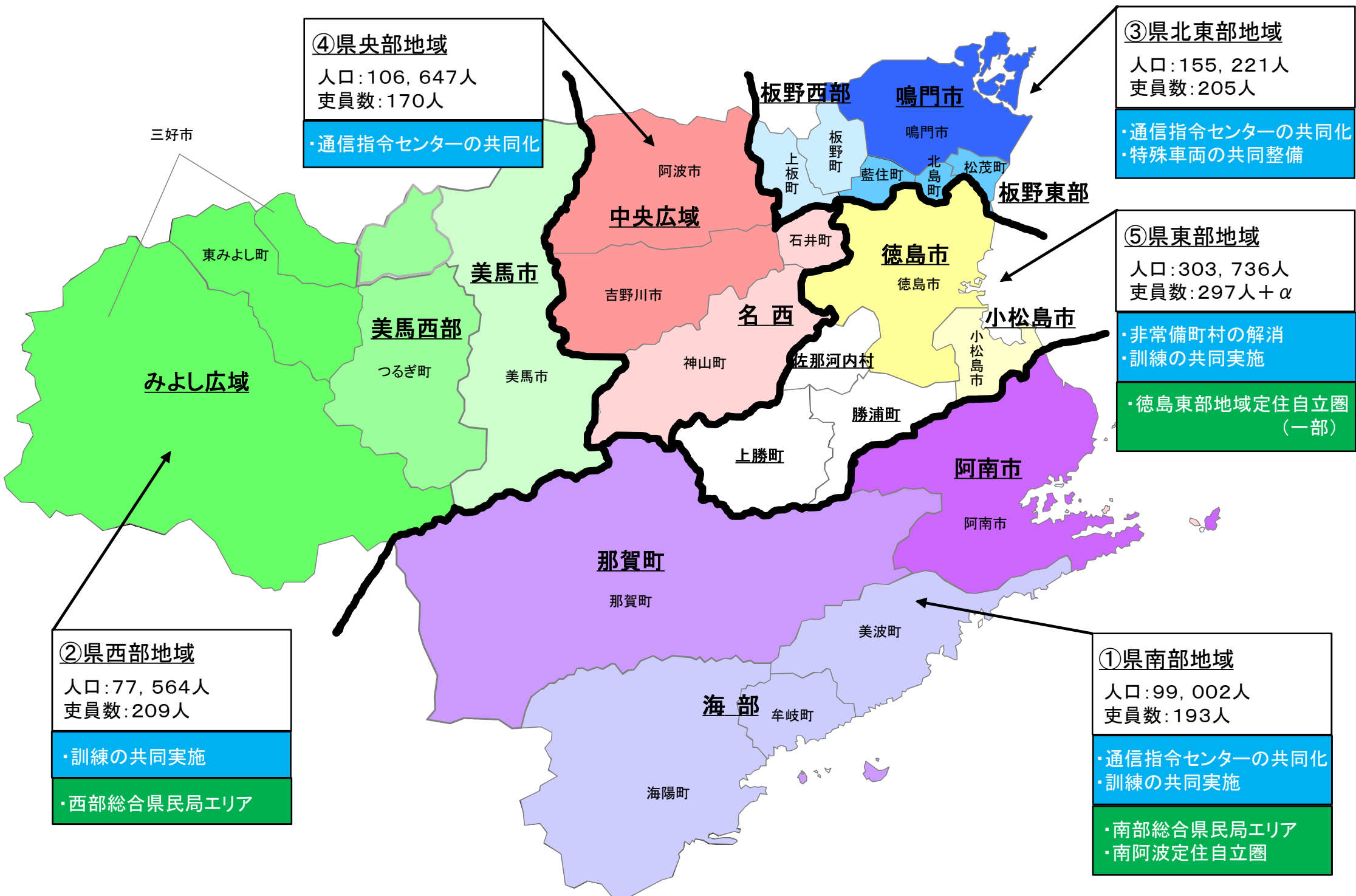
- 消防本部の規模が大きいほど災害対応能力が強化され、組織管理、財政運営等の観点からも望ましい
  - ⇒ 「県下1消防本部」は理想的な消防本部のあり方
- 各市町村の地域の実情を十分に考慮する必要がある
- 小規模消防本部の体制強化がこれまで以上に必要

◎市町村の意見や地域の特性等を勘案し、

「県下1消防本部」を掲げつつ、  
「段階的な広域化」を推進することとし、

将来の「方面本部」を見据え、  
まずは生活圏を一にする隣接地域（地域ブロック）における  
「連携・協力」や「非常備の解消」に取り組む

# 連携・協力を含む広域化を検討する枠組み（案）





## 広域化を検討する枠組み（案）について

### ■ 県下 1 消防本部とした場合、将来の「方面本部」となる地域

「方面本部」・・・火災や救助、救急等の対処事案に対し、  
まずは、方面本部長の指揮の下、対応する地域

#### ① 管轄人口

- ・ 概ね10万人以上の消防本部（10万人未満の小規模消防本部の解消）

#### ② 管轄面積

- ・ 管内において、中心地域まで概ね1時間程度の時間距離

#### ③ 地理的要因

- ・ 山地や河川等地理的要因により区分される地域

#### ④ 中心的な地域の存在

- ・ 方面本部本署

#### ⑤ 消防吏員数

- ・ 吏員100人以上の消防本部（（準）特定小規模消防本部の解消）

#### ⑥ 共通する防災課題（洪水、津波、山岳遭難等）

- ・ これに対応する災害対応能力（装備・資機材等）

#### ⑦ その他要因

- ・ 地域で連携して取り組んでいる枠組み（定住自立圏等）
- ・ 行政区域等

※市町村の意見や上記を考慮した組合せ（案）のたたき台

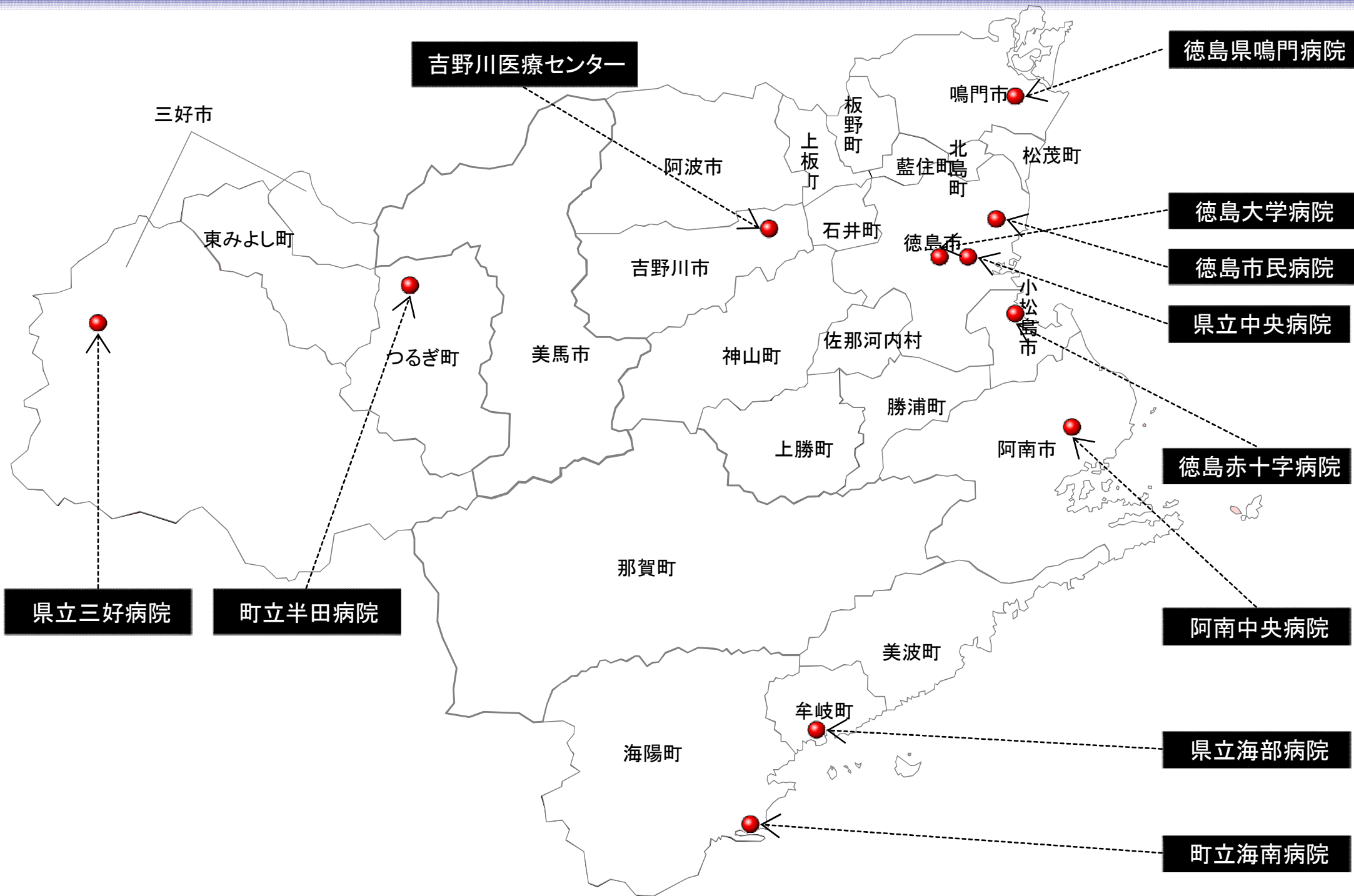
→ 別添：連携・協力を含む広域化を検討する枠組み（案）

○ 今後の予定

- 見直し方針（案）について、市町村等に説明
- 「徳島県消防広域化推進計画」の改訂（案）作成
- 第3回徳島県消防広域化推進計画検討委員会
  - ・ 計画改訂（案）の検討
- 「徳島県消防広域化推進計画」の改訂

# 災害拠点病院位置図

H30.4.1現在



# 県内の主要幹線道路網図

